

「教育実習を終えて」

[私立高等学校 保健体育]

教育実習でたくさんの知識と経験を得てきました。

はじめは丁寧に教えようという気持ちや全員ができるように指導しようという気持ちが強くありました。しかし実習をしていく中で、体育で一番大切にしなければならないことを教えていただきました。体育は技術を磨くためにするのではなく、大人になった時に体を動かそう、体を動かすことが楽しいと思える生徒を増やすためにするということです。それに気づいた時から、とにかく楽しいと思ってもらえる授業をつくることを心がけました。運動量を増やし、エネルギッシュでパワーのある授業を目指しました。だんだん自分のエネルギーが生徒に伝わっていることが自分でも分かるようになってきた時は授業をしていて本当に楽しかったです。声を積極的にかけたり、数を一緒に数えたり、教えるだけでなく自分も一緒に取り組んでいる姿勢で授業を進めていきました。「授業はパワーを持って全力で取り組む、そうすると生徒に必ず伝わる。」これを一番この実習で感じることができました。

たくさんの生徒がいる中で指導をしていくのは簡単ではありません。困ってしまうことも多くあります。そこで落ち込んでしまうのではなく、積極的に取り組んでいくことが大切です。分からないことはすぐに聞き、たくさんのことを学ぶという強い気持ちを忘れてはいけません。そのような気持ちは必ず先生にも伝わります。私もその気持ちを強く持ち続けながら取り組み続けていたところ、とても熱心に指導をしていただきました。普段から色々な人と関わり、色々な人の考えを聞く機会をつくっておくことは大切だと思いました。又、自分の中にたくさんの考え方を持とう、引き出しを多くつくろうという思いも強くなりました。

先生方、クラスの生徒達から教えていただいたこと、いただいた言葉を大切に、私自身の将来の夢へ向かって努力を続けていきます。この貴重な経験は宝物です。

皆さんも自分の目で見て色々な事を感じ取ってきてください。きっと心の中に宝物が増えます。